

第2回国際芥川龍之介学会プログラム
International Society for Akutagawa [Ryunosuke] Studies

2007年9月15日〔土〕—17日〔月〕

会場：寧波大学 中国 寧波市江北区風華路 818号

TEL&FAX：87600022

大会総合進行役

郭 勇 (寧波大学助教授)

神田由美子 (東洋学園大学教授)

○ 9月15日 (土) 〔第1日目〕

9:00 ~ 受付

10:30 ~ ◇ 開会の辞 国際芥川龍之介学会会長 官坂 覺
◇ 会場校挨拶 寧波大学外国語学院院長 範 誼
(寧波市人民政府政治協商會議副主席)

【研究発表Ⅰ】 司会 溝渕 園子(熊本大学講師)

10:50 ~ ◇ 研究発表1 「芥川における芸術と人生」 韓 小韓 (南京師範大学教授)
討論者：杉本 優 (群馬県立女子大学教授)

11:40 ~ ◇ 研究発表2 「同時代言説に見る『地獄変』の着想—芥川とロダン」
高橋 龍夫 (専修大学教授)
討論者：寫田 明子 (田園調布学園大学非常勤講師)

12:30 ~ (昼 食)
*役員会

【研究発表Ⅱ】 司会 曹 紗玉 (仁川大学教授)

15:20 ~ ◇ 研究発表3 「『西方の人』における奇跡観」
李 市峻 (崇實大学副教授)
討論者：安藤 公美(フェリス女学院大学講師)

14:50 ~ ◇ 研究発表4 「『尾生の信』の技巧をめぐって」
張 蕾 (大連海事大学副教授)
討論者：吉岡 由紀彦 (大阪産業大学非常勤講師)

休憩 (10分)

【研究発表Ⅲ】 司会 謝 志宇(浙江大学副教授)

15:50 ~ ◇ 研究発表5 「反転する過剰と欠如—『鼻』から『歯車』へ」
柴田 勝二 (東京外国語大学教授)
討論者：篠崎 美生子 (恵泉女学院大学教授)

16:40 ~ ◇ 研究発表6 「『杜子春』—教育者としての鉄冠子をめぐって」
応 傑 (北京外国語大学副教授)
討論者：奥野 久美子 (別府大学助教)

17:30 ~ ◇ 研究発表7 「中国現代文学史における二回の翻訳ピークと芥川龍之介」
劉 春英 (東北師範大学教授)
討論者：任 常毅 (上海商学院助教)

16:20 ~ ◇ 総会

18:50 ~ ◇ 懇親会

○ 9月16日(日) [第2日目]

【研究発表Ⅳ】 司会 河 泰厚(慶一大学副教授)

10:00 ~ ◇ 研究発表8 「芥川龍之介『金将軍』出典考」

金 静姫(崇実大学校兼任教授)

討論者: 伊藤 一郎(東海大学教授)

10:50 ~ ◇ 研究発表9 「日本を想像する方法—『南京の基督』を中心に」

郭 勇(寧波大学副教授)

討論者: 五島 慶一(慶應志木高校)

休憩(10分)

【研究発表Ⅴ】 司会 楊 洪鑑(寧波大学副教授)

11:40 ~ ◇ 研究発表10 「『舞踏会』論—芥川の開化期認識を探って」

足立 直子(同志社女子大学非常勤講師)

討論者: 神田 由美子(東洋学園大学教授)

12:30 ~

(昼食)

14:00 ~ ◇ 研究発表11 「敗北から再生へ」

邱 雅芬(中山大学副教授)

討論者: 西山 康一(岡山大学准教授)

休憩(10分)

15:00 ~ 小特集 芥川龍之介『支那游記』を〈読む〉

司会(小特集) 官坂 覺 フェリス女学院大学教授

第1部研究(15:00 ~

『支那游記』の再発見の旅

関口安義(都留文科大学名誉教授)

秦 剛(北京日本学研究中心副教授)

金 孝順(高麗大学日本研究センター研究所教授)

「現代の支那の悪口」が如何に形成されたか

単 援朝(崇城大学教授)

第2部 全体討論(16:30 ~

17:50 ◇ 閉会の挨拶

国際芥川龍之介学会
学会中国支部長

細川 正義
秦 剛

○ 9月17日(月) [第3日目]

文学散歩——『支那游記』の舞台を訪ねて——

西湖、杭州、楼外楼(食事)、新新ホテル(旧新新旅館:宿泊)など